

もっとくわしく知るために

(開館日時その他の内容は変更される場合があります)

十勝川インフォメーションセンター (入館無料)

十勝川の水質・十勝川に棲んでいる生きた魚・多自然型工事の紹介・水辺の楽校の情報・川でのイベント紹介、十勝川のパソコンクイズもあります。身障者にも配慮したユニバーサルデザインによる施設づくりがされています。(お問い合わせは 0155-23-2160 まで)

また「川の駅」十勝川(帯広市指定・たびさき案内人)があります。ここでは、自然環境体験活動の「何でも相談所」として、川の学習や活動、川遊びなどに関する情報を提供しています。

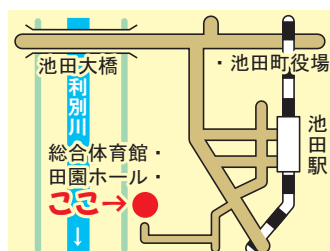


十勝川インフォメーションセンター
開館: 9時から16時 休館: 月曜・年末年始 入館無料 ☎0155-23-2160

十勝川資料館(池田町) (入館無料)

池田町の利別川沿いには、十勝川流域の自然・歴史・災害などについて模型やビデオを通して学べる「十勝川資料館」があります。

(お問い合わせは 01557-2-5713 まで)



十勝川資料館
開館: 9時から16時 休館: 火曜・年末年始 入館無料 ☎01557-2-5713

北海道エールセンター

ー 子どもの水辺 地域拠点センター (入館無料)

十勝地方で川に関する様々な活動をしてきた人々の、ネットワークとノウハウを活かし、流域をフィールドとした「情報拠点」「活動拠点」「防災拠点」を創出することを目的とした地域センターです。

センターには、訓練施設、研修室(2Fリーダー研修・会議室)、救護室、キャンプ用の炊事施設、資材施設(貸出用カヌー・ラフティング・Eポート・ライフジャケット・ヘルメット等)、防災訓練施設、などが置かれます。(平成16年4月より)



北海道エールセンター(治水の森)
平成16(2004)年4月完成

川や自然に関する役所

帯広開発建設部 治水課

十勝川水系の大きな川(十勝川、利別川、札内川、音更川)とこれらの川に流入する中小河川の下流部を管理しています。環境調査データなどについてもお問い合わせ下さい。

帯広市西4条南8丁目
0155-24-4121(代表)

帯広土木現業所 治水課

十勝川水系の中小河川や大きな川の上流部と歴舟川など十勝川水系以外の川を管理しています。

帯広市東3条南3丁目1
0155-24-3111(十勝合同庁舎代表)

十勝支庁 環境生活課 自然環境係

ケガをした野生鳥獣を発見した時、どうしたらいいかについての問い合わせに答えてくれます。

帯広市東3条南3丁目1
0155-24-3111(十勝合同庁舎代表)

博物館など

帯広百年記念館

帯広の動植物情報、考古学情報、歴史情報を教えてくれます。帯広百年記念館友の会はさまざまな行事を行っていて、会報「とかちぼうず」の発行もしています。

帯広市緑ヶ丘2番地
開館：9時～22時（展示室は9時半～16時半）
休館：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
0155-24-5352

帯広市野草園

緑が丘公園内のウツバツ川河畔林の自然を生かして作られた、帯広・十勝の植物を観賞できる野外博物館です。年3回、野草園運営委員会便り「くろ百合」を発行しています。

帯広市緑ヶ丘2番地（帯広市緑ヶ丘公園西側）
開園：9時～16時
休園：11月から4月28日までの冬期間
0155-24-2434（帯広市児童会館内）

ひがし大雪博物館

上士幌町と大雪山国立公園の動植物情報を教えてくれます。ひがし大雪博物館友の会があり、観察会などの行事やニュースレターを配布しています。

上士幌町字糠平
開館：9時～17時
休館：4月～10月は月曜、11月～3月は月曜・祝日
01564-4-2323

ポロシリ自然公園

札内川水系戸蔭別川に平成14年7月からオープンした公園です。ここでは、自然体験施設が開設されていますので、戸蔭別川流域を利用した自然観察などの野外活動ができ、指導も受けられます。60人収容の研修室もあり、宿泊しての活動も可能です。

帯広市拓成町第2基線2-7
開設期間：6月1日～9月30日
管理人駐在時間：9:00～17:00、7・8月の週末及び夏休み期間中は6:00～23:00
現地管理棟 0155-60-2000
帯広市観光課 0155-24-4111

特定非営利活動法人 帯広NPO28サロン「まちの駅」十勝

自然体験活動に関する情報提供を行っています。

帯広市西1条南28丁目4番地
0155-25-1455

日本野鳥の会 十勝支部

野鳥に関することを教えてくれます。年数回十勝管内で探鳥会を実施しています。年4回、会報「野鳥便り」を発行します。

事務局：帯広市東6条南7丁目
0155-23-0660（アークコーポレーション内）

※ その他、各市町村の施設でも川や生き物、歴史の情報を得ることができます。各市町村教育委員会などにお問い合わせください。

参考となる本

わかりやすい

「北海道の淡水魚」 稗田一敏 北海道新聞社
「検索入門 川と湖の魚①・②」 川那部浩哉・水野信彦 保育社
「アングラーのための水生昆虫フィールド・ノート」 宮下力 出版文化社
「滋賀の水生昆虫・図解ハンドブック」 谷田一三・竹門康弘 監修 滋賀県小中学校教育研究会理科部会 編 新学社

もっと詳しく

「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」 川那部浩哉・水野信彦 編・監修 山と溪谷社
「サケ・マス魚類のわかる本」 井田齊・奥山文弥 山と溪谷社
「原色 川虫図鑑」 谷田一三 監修 丸山博紀・高井幹夫 著 全国農村教育協会
「日本産水生昆虫検索図説」 川合禎次 東海大学出版会

その他

「北海道の川に棲む 魚たちの話」 妹尾優二 エコテック
「アイヌ植物誌」 福岡イト子 草風館
「川の生き物を調べよう」 環境省・国土交通省 編 （財）河川環境管理財団

（各項目で挙げた「参考文献」もご参照ください。なお絶版などの際はご容赦ください）